

人間社会学科（哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム）

学部共通科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学部共通基盤科目	HS101	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	2	○	(2-0)	1	前	大学で学ぶための基礎的な技能の演習（導入）
	HS102	基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	口頭発表・討論・レポート作成を中心とした基礎的な演習（展開）
	HS103	基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）	2	○	(2-0)	1～2	前又は後	特定課題を中心とした口頭発表・討論・レポート作成の演習（発展）

学部共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
平和共生・沖縄理解基盤科目	HS111	共生社会入門	2		(2-0)	1～2	前	「共生社会」というテーマの下で、哲学・教育学・心理学・社会学・社会福祉学・マスコミ学の立場から論じる講義
	LAW291	基礎社会保障法	2		(2-0)	1～2	後	社会保障法についての基礎理論の講義
	PIR311	国際関係史	2		(2-0)	1～2	前又は後	現代国際関係の史的分析
	P&P111	共生哲学	2		(2-0)	1	前	共生について哲学的に考察する。
	HS113	琉球アジア研究概論	2		(2-0)	1～2	後	琉球・沖縄の歴史・言語・文学、日本の文学・歴史など、日本を含む琉球、アジアの個々の地域について、あるいは中国と琉球・沖縄、日本と中国などの交流の歴史にふれ、いま何をどのように研究が進められているのか、なぜ研究をする必要があるのか、解決しなければならない課題はなにか等を講義する。

注1：学部共通科目（選択科目）から4単位以上修得すること。

注2：学部共通科目（選択科目）の履修要件(4単位)を超えた分は専門自由科目に振り替えることができる。

学科共通科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
学科基盤科目	P&P112	人間の探究	2		(2-0)	1	後	人間について哲学的に考察する。
	P&P161	教育学入門	2		(2-0)	1	後	教育の基礎について考察する。
	PSY101	心理学概論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	心理学の主要な理論と研究の概説。
	SOC111	社会学原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論
	SW100	社会福祉原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	社会福祉の概念・構造・歴史
	MCM170	マス・コミ原論Ⅰ	2		(2-0)	1	後	マス・メディアの概念・社会的機能と影響
学科発展科目	P&P211	哲学原論	2		(2-0)	2	前	哲学の基礎概念や主要問題を概説する。
	P&P261	教育社会学	2		(2-0)	2	後	教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する。
	PSY202	社会・集団・家族心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。
	PSY203	社会心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY201	臨床心理学	2		(2-0)	2	後	臨床心理学の成り立ちや代表的な理論などについての概説。
	PSY301	精神医学（精神疾患とその治療）	2		(2-0)	3	後	精神疾患総論および薬剤による心身の変化などについての概説。
	SOC213	国際比較社会学Ⅱ	2		(2-0)	2	後	グローバル化した社会に関する基礎理論とその展開
	SW200	障害者福祉論	2		(2-0)	2	前	障害者福祉の理念と意義及び法とサービス体系等
MCM270	地域と平和	2		(2-0)	2	前又は後	ジャーナリズムと地域平和形成の諸問題研究	

注1：学科共通科目(学科基盤科目)から6単位以上、学科共通科目(学科発展科目)から4単位以上修得すること。

※心理学プログラムにおいては、学科発展科目のうち、「社会・集団・家族心理学」、「臨床心理学」はプログラムコア基盤科目、「精神医学」はプログラムコア発展科目として扱う。

注2：学科共通科目(学科基盤科目)の履修要件(6単位)を超えた分はプログラム発展科目に振り替えることができる。

注3：学科共通科目(学科発展科目)の履修要件(4単位)を超えた分はプログラム発展科目に振り替えることができる。

哲学・教育学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 基礎科目	P&P201	哲学・教育学演習Ⅰ	2	○	(2-0)	2	前	哲学・教育学の基礎理論に関する研究発表と討議。
	P&P202	哲学・教育学演習Ⅱ	2	○	(2-0)	2	後	哲学・教育学の基礎理論に関する研究発表と討議。
プログラムコア 発展科目	P&P301	プログラム専門演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前	哲学・教育学の主要理論に関する研究発表と討議。
	P&P302	プログラム専門演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3	後	哲学・教育学の主要理論に関する研究発表と討議。
	P&P401	卒業研究Ⅰ	2	○	(2-0)	4	前	卒業論文の作成。
	P&P402	卒業研究Ⅱ	2	○	(2-0)	4	後	卒業論文の作成。

哲学・教育学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展科目	P&P113	哲学史	2		(2-0)	1	後	哲学を歴史的に概観する。
	P&P212	宗教哲学入門	2		(2-0)	2~4	前	宗教の基本的な思想について哲学的に考察する。
	P&P213	倫理学原論	2		(2-0)	2~4	前	倫理の基礎概念や主要問題を概説する。
	P&P214	比較思想論	2		(2-0)	2~4	前	西洋思想と東洋思想を比較検討する。
	P&P215	論理学概論	2		(2-0)	2~4	後	現代論理学の基礎について概説する。
	P&P216	真理と認識A	2		(2-0)	2~4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P217	真理と認識B	2		(2-0)	2~4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P218	真理と認識C	2		(2-0)	2~4	後	真理と認識について哲学的に考察する。
	P&P219	思考と存在A	2		(2-0)	2~4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P220	思考と存在B	2		(2-0)	2~4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P221	思考と存在C	2		(2-0)	2~4	後	思考と存在について哲学的に考察する。
	P&P222	哲学A	2		(2-0)	2~4	前	哲学の諸問題を考察する。
	P&P223	哲学B	2		(2-0)	2~4	後	哲学の諸問題を考察する。
	P&P224	倫理学A	2		(2-0)	2~4	前	倫理学の諸問題を考察する。
	P&P225	倫理学B	2		(2-0)	2~4	後	倫理学の諸問題を考察する。
	P&P311	宗教哲学A	2		(2-0)	2~4	前	宗教思想について哲学的に考察する。
	P&P312	宗教哲学B	2		(2-0)	2~4	前	宗教思想について哲学的に考察する。
	P&P313	世界の宗教	2		(2-0)	2~4	前	世界の主要な宗教を哲学的に検討する。
	P&P314	現代の哲学	2		(2-0)	2~4	前	現代の哲学的状況について概説する。
	P&P315	認知哲学	2		(2-0)	2~4	前	知識や認知について哲学的に考察する。
	P&P316	宗教学A	2		(2-0)	2~4	前	宗教について哲学的に考察する。
	P&P317	宗教学B	2		(2-0)	2~4	前	宗教について哲学的に考察する。
	P&P318	論理学と哲学	2		(2-0)	2~4	後	論理学と哲学の関係について考察する。
	P&P411	科学と哲学	2		(2-0)	2~4	前	科学と哲学の関係について考察する。
	P&P361	教育の社会理論	2		(2-0)	2~4	前	教育について社会理論的に考察する。
	P&P262	教職入門	2		(2-0)	2~4	前	学校教員の役割・職務について考察する。
	P&P263	教育原理	2		(2-0)	2~4	前	教育の理念・歴史・思想について考察する。
	P&P264	教育学特論	2		(2-0)	2~4	後	教育に関わる特定の問題について考察する。
	P&P265	学校社会学	2		(2-0)	2~4	前	学校教育の実践・制度の現実を社会学の視点から考察する。
	P&P266	教育の社会史	2		(2-0)	2~4	後	教育について社会史的に考察する。
	P&P267	教育調査	2		(0-2)	2~4	後	教育についての調査を行う手法を習得する。
	P&P362	教育課程	1		(2-0)	2~4	前	教育課程に関する理論と実践について考察する。
	P&P363	教育方法	1		(2-0)	2~4	前	教育方法の理論と実践について考察する。
	P&P364	生徒指導論	2		(2-0)	2~4	後	生徒指導について考察する。
	P&P365	教育行政学	2		(2-0)	2~4	前	教育行政について考察する。
	P&P366	教育法	2		(2-0)	2~4	後	教育に関する法について考察する。
	P&P367	教育福祉論A	2		(2-0)	2~4	後	教育と福祉の基本問題について考察する。
P&P368	教育福祉論B	2		(2-0)	2~4	後	教育と福祉の基本問題について考察する。	
P&P369	道徳教育論	2		(2-0)	2~4	後	道徳教育について考察する。	
P&P370	特別活動論	2		(2-0)	2~4	後	特別活動について考察する。	

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて哲学・教育学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から30単位以上修得すること。

注3 30単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

心理学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア基盤科目	PSY201	臨床心理学	2	○	(2-0)	2	後	臨床心理学の成り立ちや代表的な理論などについての概説。
	PSY202	社会・集団・家族心理学	2	○	(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。
	PSY204	心理学概論Ⅱ	2	○	(2-0)	2	前	心理学の成り立ちや、人の心の基本的な仕組み・働きについての概説。
	PSY207	心理学実験	2	○	(1-3)	2	前	実験の計画立案および統計に関する基礎的な知識についての概説と演習。
	PSY205	心理学研究法	2	○	(2-0)	2	後	心理学における実証的研究法やデータを用いた実証的な思考方法、研究倫理などについての概説。
	PSY206	心理学統計法Ⅰ	2	○	(1-1)	2	前	心理学で用いられる統計の基礎的な知識や分析手法についての概説。
プログラムコア発展科目	PSY208	心理学統計法Ⅱ	2	○	(1-1)	2	後	心理学で用いられる統計のより高度な知識や分析手法についての概説。
	PSY301	精神医学（精神疾患とその治療）	2	○	(2-0)	3	後	精神疾患総論および薬剤による心身の変化などについての概説。
	PSY302	心理学基礎演習	2	○	(0-2)	3	前	特定教員のもとで研究の基礎を構築する。
	PSY303	心理学課題演習	2	○	(0-2)	3	後	個別に課題を設定し、心理学的な研究方法によるデータ収集と分析を行い、研究レポートを作成する。
	PSY401	卒業研究Ⅰ	2	○	(0-4)	4	前	特定教員のもとでの実証的な個別研究。
	PSY402	卒業研究Ⅱ	2	○	(0-4)	4	後	特定教員のもとでの実証的な個別研究。

心理学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム発展科目	PSY203	社会心理学	2		(2-0)	2	後	対人関係、集団、家族などにおける人の意識や行動についての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY209	知覚・認知心理学	2		(2-0)	2	後	人の感覚・知覚、認知・思考の機序およびその障害などについての概説。
	PSY305	学習・言語心理学	2		(2-0)	2～3	後	人の行動が変化する過程や言語の習得における機序などについての概説。
	PSY306	神経・生理心理学	2		(2-0)	2～3	後	脳神経系の構造及び機能、記憶・感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害などについての概説。
	PSY213	心理調査概論	2		(2-0)	2	後	質問紙調査や面接調査など、心理学的な調査法についての概説。
	PSY410	文化心理学	2		(2-0)	3～4	前	文化における個人の心理的過程や、文化比較や異文化間接触などについての概説。
	PSY411	コミュニティ心理学	2		(2-0)	3～4	前	コミュニティと個人との関連性や、地域コミュニティにおける援助システムなどについての概説。
	PSY409	産業・組織心理学	2		(2-0)	3～4	前	組織における人の行動や、職場における問題に対する心理的支援などについての概説。
	PSY308	司法・犯罪心理学	2		(2-0)	3	後	犯罪・非行、犯罪被害および家事事件に関する基本的知識と、司法・犯罪分野における心理的支援などについての概説。
	PSY309	司法心理学	2		(2-0)	3	後	犯罪・非行、犯罪被害および家事事件に関する基本的知識と、司法・犯罪分野における心理的支援などについての概説。（教職課程のものはこちらを履修すること）
	PSY403	発達心理学	2		(2-0)	3～4	前	認知機能、感情・社会性、自己、生涯における心身の発達および、非定型発達についての基礎的な知識や考え方などについての概説。
	PSY407	福祉心理学	2		(2-0)	3～4	前	福祉現場における問題と必要な支援、虐待についての基本的知識などについての概説。
	PSY210	心理的アセスメントⅠ	2		(1-3)	2	後	心理的アセスメントの目的、方法、記録、報告についての概説と演習。
	PSY307	心理的アセスメントⅡ	2		(1-3)	3	前	より高度な心理的アセスメントの方法、展開についての概説と演習。

プログラム 発展科目	PSY405	障害者・障害児心理学	2		(2-0)	3~4	後	身体障害、知的障害、精神障害の概要と、障害者・障害児への心理的支援などについての概説。
	PSY211	心理学的支援法	2		(2-0)	2	後	代表的な心理療法・カウンセリングの概要と、適切な支援、心の健康教育などについての概説。
	PSY412	認知行動療法	2		(2-0)	3~4	前	認知行動療法の背景理論と治療技法及び症例についての概説。
	PSY406	健康・医療心理学	2		(2-0)	3~4	後	ストレスと心身の疾病との関係や、医療現場・保健現場における心理社会的課題と必要な支援などについての概説。
	PSY404	感情・人格心理学	2		(2-0)	3~4	前	感情に関する理論および感情喚起の機序、人格の概念および形成過程などについての概説。
	PSY408	教育・学校心理学	2		(2-0)	3~4	後	教育現場における問題や心理社会的課題、および必要な支援などについての概説。
	PSY214	外国文献講読Ⅰ	2		(2-0)	2	後	心理学の基礎的な外国文献の講読
	PSY313	外国文献講読Ⅱ	2		(2-0)	3	前	心理学の応用的な領域の文献や研究論文の講読
	PSY413	外国文献講読Ⅲ（発展）	2		(2-0)	4	前	心理学の最新の研究論文の講読
	PSY311	心理演習	2		(0-2)	3	前	面接及び心理検査等のロールプレイ並びに事例検討。
	PSY312	心理実習	2		(1-3)	3	前	心理的支援を必要とする実際の施設における見学等の実習。
	PSY212	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	2		(2-0)	2	前	心身機能と身体構造および様々な疾病や障害、心理的支援が必要な疾病などについての概説。
	PSY304	心理専門職キャリア概論Ⅰ（公認心理士の職責）	2		(2-0)	2~3	前	公認心理師の役割、法的義務、倫理、業務などについての概説。
	PSY310	心理専門職キャリア概論Ⅱ（関係行政論）	2		(2-0)	2~3	後	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野に関係する制度についての概説。

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて心理学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から22単位以上修得すること。

注3 22単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

社会学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラムコア 基礎科目	SOC211	社会学原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	集団、社会、文化、社会変動に関する基礎理論とその展開
	SOC212	国際比較社会学Ⅰ	2		(2-0)	2	前	グローバル化した社会に関する基礎理論
	SOC214	社会学実習Ⅰ	2		(0-4)	2	前	社会学的テーマに基づく調査の企画・実施
	SOC215	社会学実習Ⅱ	2		(0-4)	2	後	社会学的テーマに基づく調査の企画・実施
	SW201	社会福祉原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	社会福祉の概念・構造・歴史
	SW202	ソーシャルケースワークⅠ	2		(2-0)	2	前	個別援助技術の理論、意義、原則及びその発展
	SW300	相談援助実習Ⅰ	2		(0-2)	3	前	現場体験を通じた専門知識、技術、関連知識の理解
	SW301	相談援助実習Ⅱ	2		(0-2)	3	後	現場体験を通じた専門知識、技術、関連知識の理解
	MCM271	マス・コミ原論Ⅱ	2		(2-0)	2	前	マス・メディアの概念・社会的機能と影響
	MCM272	マス・コミ実習Ⅰ	2		(0-6)	2	前	新聞の製作
	MCM273	マス・コミ実習Ⅱ	2		(0-6)	2	後	テレビ番組の企画・制作
	MCM274	マス・コミ史	2		(2-0)	2	前又は後	マス・メディアの歴史的発展及び機能変遷

注1 上記の科目から8単位以上修得すること。

注2 社会学コースの学生は社会学原論Ⅱ、国際比較社会学Ⅰ、社会学実習Ⅰおよび同Ⅱを必ず含めること。

社会福祉学コースの学生は社会福祉原論Ⅱ、ソーシャルケースワークⅠ、相談援助実習Ⅰを必ず含めること。また、社会福祉士受験資格を希望する学生は相談援助実習Ⅱを必ず含めること。

マス・コミ学コースの学生はマス・コミ原論Ⅱ、マス・コミ実習Ⅰおよび同Ⅱ、マス・コミ史を必ず含めること。

注3：8単位を超過した分は、プログラム発展科目もしくは専門自由科目に振り替えることができる。

社会学プログラム専門科目（必修科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展科目 コア	SOC301	専門演習Ⅰ	2	○	(2-0)	3	前又は後	論文研究、調査研究の発表及びその討議
	SOC302	専門演習Ⅱ	2	○	(2-0)	3後又は4前		論文研究、調査研究の発表及びその討議
	SOC401	卒業研究Ⅰ	2	○	(2-0)	3後又は4前		学術研究論文の作成
	SOC402	卒業研究Ⅱ	2	○	(2-0)	4	前又は後	学術研究論文の作成

社会学プログラム専門科目（選択科目）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	必修	週時間	受講年次	学期	授業内容
プログラム 発展科目	SOC216	社会調査法Ⅰ	2		(2-0)	2	前	社会調査の理論と技術
	SOC217	社会調査法Ⅱ	2		(2-0)	2	後	社会調査の理論と技術
	SOC221	働くこととつながることの社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	働くこととつながることの理論と現場学習
	SOC222	働くこととつながることの社会学Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	働くこととつながることの理論と現場学習
	SOC223	多文化共生の社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	海外沖縄移民子弟との交流授業
	SOC224	多文化共生の社会学Ⅱ	2		(2-0)	2～3	前又は後	海外沖縄移民子弟との交流授業
	SOC227	家族社会学	2		(2-0)	2～3	前又は後	現代家族の構造と変容
	SOC229	ライフコースの社会学	2		(2-0)	2～3	前又は後	人生軌道の社会学的構造と変容
	SOC230	沖縄移民とアイデンティティ	2		(2-0)	2～3	前又は後	移民とアイデンティティの理論と現場学習
	SOC235	境界性の社会学Ⅰ	2		(2-0)	2～3	前又は後	マイノリティや共生の視点から社会学の研究方法を学ぶ
	SW203	ソーシャルケースワークⅡ	2		(2-0)	2	後	個別援助技術の展開過程と技術
	SW204	相談援助演習Ⅰ	2		(2-0)	2	後	技術援助の基礎的な知識の理解と演習及び事例検討
	SW302	相談援助演習Ⅱ	2		(2-0)	3	前	技術援助の基礎的な知識の理解と演習及び事例検討
	SW303	相談援助演習Ⅲ	2		(2-0)	3	後	実習の総括と援助技術のより深い理解及び事例検討
	SW205	児童福祉論Ⅰ	2		(2-0)	2	前	児童福祉の理念と意義、その発達史
	SW206	児童福祉論Ⅱ	2		(2-0)	2	後	児童福祉のサービス体系及び処遇技術
	SW207	地域福祉の理論と方法	2		(2-0)	2	前	地域福祉の理論及び具体的な推進方法等に関する理解
	SW208	ソーシャルグループワーク	2		(2-0)	2～3	前	小集団の理解と集団援助技術の理論、原則、方法
	SW209	公的扶助論	2		(2-0)	2～3	前又は後	公的扶助の概念・発達史・現実の問題
	SW210	高齢者福祉論	2		(2-0)	2	前	高齢者の生活実態及び関連法及びサービス体系等
SW304	医学概論	2		(2-0)	3	後	人体構造と機能、疾病等に関する基礎的理解	

プログラム
発展科目

SW211	相談援助実習指導Ⅰ	2	(2-0)	2	後	相談援助実習に向けた事前指導
SW305	相談援助実習指導Ⅱ	2	(2-0)	3	前	相談援助実習に関する事前、事後指導等
SW306	相談援助実習指導Ⅲ	2	(2-0)	3	後	相談援助実習に関する事後的指導及び見学実習等
SW212	介護概論	2	(2-0)	2	後	介護の役割と範囲、介護技法など
SW213	介護技術	2	(2-0)	2	後	具体的な介護技術の理解及び修得
SW214	就労支援サービス論	2	(2-0)	2～3	前又は後	各種就労支援サービス関連の法律及びその内容
SW215	福祉行財政と福祉計画	2	(2-0)	2～3	前又は後	福祉行財政と福祉計画の実施体制及びその実際
SW307	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	(2-0)	3	前	相談援助の基盤となる価値観、理念及びその実際
SW308	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	(2-0)	3	後	専門職として必要な知識、技法に関する理解
SW216	社会福祉運営管理論	2	(2-0)	2	後	福祉サービスの組織、経営、管理運営に関する理解
SW217	保健医療概論	2	(2-0)	2	後	医療保険制度及び保健医療サービスに関する理解
SW400	人体構造及び日常生活行動に関する理解	2	(2-0)	4	前	介護技術の根拠となる人体構造等の理解と、サービス提供における配慮等への理解
SW401	加齢と障害に関する理解	2	(2-0)	4	後	加齢と障害に関する基礎的な理解と、社会的・心理的支援等への理解
SW309	権利擁護・成年後見・更生保護	2	(2-0)	3	後	各活動の理念・概要及び活動の実態・課題等
SW218	社会保障論	2	(2-0)	2	前	社会保障の概念・発達史・現実課題
SW402	社会福祉特殊講義Ⅰ	2	(2-0)	4	前	教官テーマによる特殊講義
SW403	社会福祉特殊講義Ⅱ	2	(2-0)	4	後	教官テーマによる特殊講義
SW404	社会福祉特殊講義Ⅲ	2	(2-0)	4	前	教官テーマによる特殊講義
MCM275	マス・コミ調査分析	2	(2-0)	2	前又は後	マス・コミの役割分析・世論調査及び諸問題の研究
MCM276	マスコミュニケーション理論	2	(2-0)	2	前又は後	マス・コミの社会的影響に関する諸理論の研究
MCM277	映像論	2	(2-0)	2	前又は後	映像メディアの機能・社会的影響
MCM381	情報と社会Ⅰ	2	(2-0)	3	前	世論・世論調査の基礎理論
MCM382	情報と社会Ⅱ	2	(2-0)	3	後	世論調査の技術習得・分析
MCM278	新聞英語Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	英文記事講読・英文ニュースの聴取訓練
MCM279	新聞英語Ⅱ	2	(2-0)	2	前又は後	英文記事の書き方・英文ニュースの聴取訓練
MCM383	大衆文化論	2	(2-0)	3	前又は後	大衆社会における文化状況、その機能と影響
MCM384	地域メディア論	2	(2-0)	3	前又は後	島嶼社会におけるコミュニケーションの問題研究
MCM280	マス・コミ特殊講義Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	ジャーナリズム・コミュニケーション研究
MCM281	マス・コミ特殊講義Ⅱ	2	(2-0)	2	前又は後	メディアの現場からのジャーナリズム論

注1 上記の表に掲載のプログラム発展科目に加えて、人間社会学科内の学科共通科目およびプログラム専門科目は必修科目を除き、すべて社会学プログラムのプログラム発展科目に振り替えることができる。

注2 上記の表または注1の科目から26単位以上修得すること。

注3 26単位を超過した分は、専門自由科目に振り替えることができる。

人間社会学科（哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム）

区 分		プログラム			
		哲学・教育学	心理学	社会学	
専門教育	学部共通専門科目	学部共通基盤科目	6	6	6
		平和共生・沖縄理解基盤科目	4	4	4
	学科共通専門科目	学科基盤科目	6	6	6
		学科発展科目	4	4	4
	プログラム専門科目	プログラムコア基盤科目	4	12	8
		プログラムコア発展科目	8	12	8
プログラム発展科目		30	22	26	
専門自由科目※1		26	22	26	
小 計		88	88	88	
共通教育※2	教養領域・総合領域・基幹領域（情報関係）	健康運動系科目	2	2	2
		その他の領域	22	22	22
		人文系科目	2	2	2
		社会系科目	2	2	2
		自然系科目	2	2	2
		総合科目			
		琉大特色・地域創生科目			
		キャリア関係科目	2	2	2
		情報関係科目			
	（平和共生・沖縄理解科目群※3）		（ 6 ）	（ 6 ）	（ 6 ）
基幹領域（外国語）	第1外国語	8	8	8	
	第2外国語	4	4	4	
小 計		36	36	36	
総 単 位 数		124	124	124	

- ※1 専門自由科目とは次のとおりとする。
- ・学部共通科目（選択科目）の履修要件を超えた専門教育科目
 - ・他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目
 - ・本プログラムの選択科目の履修要件を超えた専門教育科目
 - ・卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

- ※2 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- ※3 平和共生・沖縄理解科目群

以下の科目は、それぞれ人文系科目、社会系科目、総合科目、琉大特色・地域創生科目としてもカウントされる。

科目番号	科目名	科目番号	科目名	科目番号	科目名
人06	西洋思想と日本・中国の思想	総62	環境と文学	琉26	琉球の地理
人09	環境の哲学	総64	女性と社会	琉41-2	琉球アジア研究入門
人19	人間と宗教	総85	現代の国際関係	琉46	沖縄の政治と社会
人42	東洋の歴史と文化	琉01	平和論	琉48	うちなーぐちあしび
人43	西洋の歴史と文化	琉02	核の科学	琉50	沖縄の学力と教育
人44	日本の歴史と文化	琉05	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	琉51	琉球語入門Ⅰ
人47	宗教と世界	琉06	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	琉52	琉球語入門Ⅱ
人67	比較思想文化論	琉14	琉球の文学	琉54	沖縄の歴史入門
社06	戦争と平和の諸問題	琉22	琉球の自然	琉55	琉球学入門
総12	環境の保全	琉23	琉球の自然保護	琉56	琉球の自然と人
総14	環境問題	琉24	沖縄のサンゴ礁	琉71	現代沖縄地域論
総47	総合環境学概論	琉25	琉球弧の自然誌		

【履修方法】

- 共通教育科目については、「その他の領域」から22単位以上取得すること。
その際、人文系科目、社会系科目、自然系科目、キャリア関係科目からそれぞれ2単位以上取得すること。
22単位のうち、平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。
- 一学期に登録できる単位数の上限は、20単位である。ただし、集中講義はこの中に含まない。
直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
また、教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- 教員免許を取得したい学生は、教育学部の提供する教職科目以外に教員職員免許法施行規則第4条により必要な科目を履修すること。